

A black and white photograph of students in a classroom celebrating with streamers. The students are wearing school uniforms and are holding up long, white streamers that are hanging from the ceiling. The classroom has desks and a chalkboard in the background.

Report by

# 忍者

Ryogoku High School

# 📍 Motivation & Goals ~ 動機と目標 ~

## ◎ レシートって無駄じゃない？

「レシートって、無駄じゃない？」あるメンバーのこの一言が私達の心を動かした。考えたこともなかったこの視点に、チーム一同興味を持った。そんな何気ない会話をきっかけに私達の活動が幕を開けた。

## ◎ 目標: ゴミとして処理されるレシート削減

# 📍 Current status ~ 現状 ~

### ① 飲食店にレシートを不要と言って捨てていった数を調査

←	不要レシート数	会計数	不要レシート数/総発行数
平日一日	110	347	31.7%
休日一日	101	341	29.6%

### ・学校内 200 人の生徒を対象に行ったレシートを受け取るか否か等に関する調査

店でレシートを受け取る人	総数	受け取った後	保存※1	廃棄
←	172	←	90	82
店でレシートを受け取らない人	総数	理由	不要	その他
←	28	←	25	3

※1:一定期間保存の上、家計簿等に記録後廃棄もここに含む

↑ 全体の3割程度の客は店を出る時点でレシートを不要として捨てていることが分かった

↑ 1割強の生徒は店を出る時点でレシートを不要として捨て、計6割の生徒はレシートを有効活用せず廃棄していることが分かった

\* 上記の結果からもわかる通り、レシートを受け取った後は有効活用せず、そのまま廃棄しているというのが現状である。

◎ 現状把握のため、私達の両国高校第一学年計約 200 人を対象に 1 か月間レシートの回収を行った

結果) 幅 5.7 × 高さ 136m = 約 8 平方メートル (約 5 畳分) という膨大な量だということが分かった。

## ◎ レシートが及ぼす害

アメリカでは紙のレシートを禁止する法案が 2019 年に提出された。理由はレシートのコーティングに使用されている化学物質が人の健康や自然環境に悪影響があるということだ。このレシートの現状を知らなかった人も多いのではないかな。これは世界で取り上げられるべき重要な問題である。

そこで私達は 3R に当てはめてレシートを改めて見直すことにした。

# ◎ 3R

## Recycling; 再生

◎ 古紙を再生している企業に電話をして調査

レシートは感熱紙という特殊な紙で構成されていて、紙と熱が反応することで文字が出てくる仕組みになっている。これを古紙として再生したときに斑点として浮かび上がってきてしまい、商品にすることが出来ないため現状の技術では難しいということがわかった。

(中村製紙・名鉄協商・大王製紙・増田商店・江戸川古紙再生センター・古紙再生促進センター)

## Reuse; 再使用

◎ ネット上の「レシートの有効活用 まとめサイト」を参考に実験

例) レシートを用いて鏡を拭く、爪を磨く  
結果) あまり効果を得ることが出来なかった。

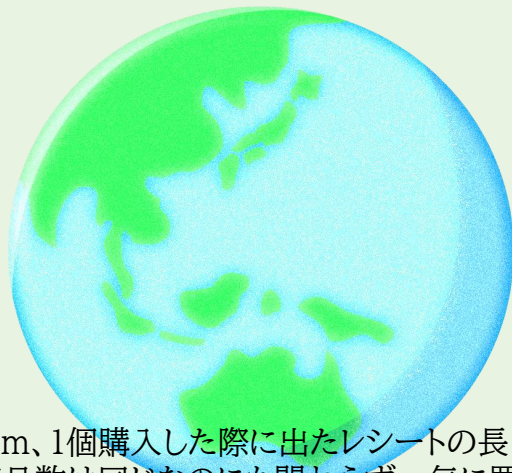
## Reduce; 減量

◎ レシートの発生自体を減らす方法を考案

→ 計画的な買い物をする

実験内容

同店舗において、10 個まとめて購入した際に出たレシートの長さは 17.5cm、1 個購入した際に出たレシートの長さは 14cm であった。つまり、もし一個ずつ購入することを 10 回続けたら、商品数は同じなのにも関わらず一気に買うより 8 倍ものレシートが発生する計算になる。





# Method~プロジェクトの方法~

①私達も当初はレシートに関心を持ったことなどなく、そもそも知識も足りていない。これが多くの人の現状ではないか。そこで、まずは多くの人たちにレシートに関心を持ってもらい、考えてもらう必要があると感じた。

## ◎発信方法

(1)Twitterという多くの人の目に留まるメディアを通して以下の内容を発信

- ・レシートには有害物質が含まれている。
- ・リサイクルが難しいため環境に悪影響を及ぼす
- ・計画的な買い物を推奨
- ・レシートに関する豆知識

(2)メディアを使用していない年齢層の方にもレシートに興味を持ってもらうため、ポスターを掲示

(江戸川区立鹿骨小学校・江戸川区立鹿骨中学校・江東区立東砂小学校・江東区立浅間館川小学校・墨田区立東駒形コミュニティ会館・江戸川区立共育プラザ南小岩・江戸川区立共育プラザ葛西・江東区立亀戸図書館・江東区立東大島図書館・江東区立亀戸第三児童館・江東区立東砂第二児童館・江東区立青少年交流センター・日本料理魚照・定食屋丸花・サイゼリヤ錦糸町楽天地店・ヨークマート東砂店・LAWSON墨田江東橋1丁目店・LAWSON曳舟駅前店・セブンイレブン墨田押上2丁目西店・セブンイレブン墨田押上2丁目店 など)

## ②レシート電子化の推奨

現在の日本ではあまりレシートの電子化が進んでいない状況にある。

## ◎方法

・以下のメリットデメリットと共に「明細書の内容、また広告、クーポン等をメールやアプリで送る」ことを提言した。

### <メリット>

- ・資源が無駄にならない(企業)→SDGsへの貢献に繋がる
- ・印刷費用削減(企業)
- ・レシートを保存する手間が省け、家計簿管理や保管が楽になる(消費者)

### <デメリット>

- ・高齢者や子供に不利な条件→消費者も活用方法に慣れていない(消費者)
- ・データ消失や個人情報漏洩の危険性がある(双方)→セキュリティシステムの強化

(電子レシート導入を提言した企業先→セブン&アイホールディングス・株式会社GU・文教堂グループホールディングス・株式会社ビックカメラ・伊藤忠商事株式会社・キーコーヒー株式会社)  
(電子レシート推奨に関する法案の提言先→小泉進次郎環境大臣・笹川博義副環境大臣・堀内り子環境大臣政務官・牧原秀雄自由民主党環境部会長・務方俊介同部会長代理・加藤鮎子同副部会長)

ポスター→



レシート集計の様子→  
←ポスターの掲示場所



# Sustainability~持続可能性~

## ①SNSによる情報発信の継続

「忍者」の公式Twitterアカウントを開設し、情報発信をしてきた。大会後は本校の美化委員会にも活動を引き継ぐことを予定している。SAGE JAPANの活動が終わってもアカウントは消去せず、引き続きメンバーがアカウントから情報を発信することにより、この問題を風化させないようにすることが出来る。

## ②ポスターの設置

この問題をSNSを使用していない年齢層の方々にも認知してもらうために、ポスターを制作した。小学校や児童館、図書館などの公共施設に貼ることで幅広く、多くの方の目に留まるように工夫した。ポスターは貼ってある限り、人々に知ってもらうことが出来る。今後はポスターの掲示範囲を広げ、より多くの方に知ってもらおうと考えている。

## ③企業との連携

企業の方々と連携をしていく中で、現段階ではリサイクルは難しいが技術の開発などを促し、可能な道を探していきたい。また電子化についても同様に模索していきたい。

## ④後年への後継ぎ

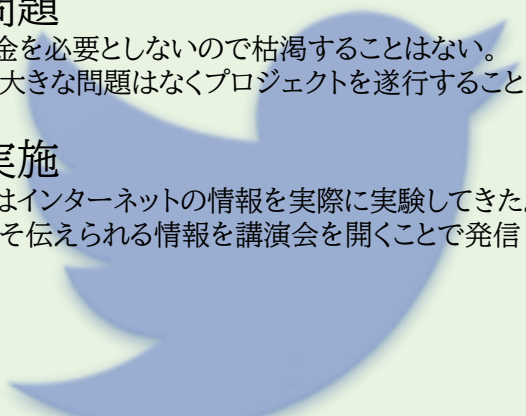
勿論、私達自身は今後も活動を続ける。また、NPO法人にプロジェクトの重要性を訴えた提言を提出済みである。

## ⑤資金面の問題

本プロジェクトは資金を必要としないので枯渇することはない。よって資金に関する大きな問題はなくプロジェクトを遂行することが出来るだろう。

## ⑥講演会の実施

前述した通り、私達はインターネットの情報を実際に実験してきた。そんな私達だからこそ伝えられる情報を講演会を開くことで発信していく。



# SDGs × 忍者～持続可能な開発目標～

3 すべての人に  
健康と福祉を



## 3, Good health and well-being

前述したとおりレシートに塗布されている化学薬品にはビスフェノールAというものが使用されている。これは生殖機能への害や発がん物質などの健康被害が確認されている。レシート削減は健康問題に関わっている。よって3番と関連する。

12 つくる責任  
つかう責任



## 12, Responsible cities and communities

忍者の活動は日頃からレシートを受け取っている消費者、発生させている機関の意識に問いかけているもので、12番と関連している。

15 陸の豊かさも  
守ろう



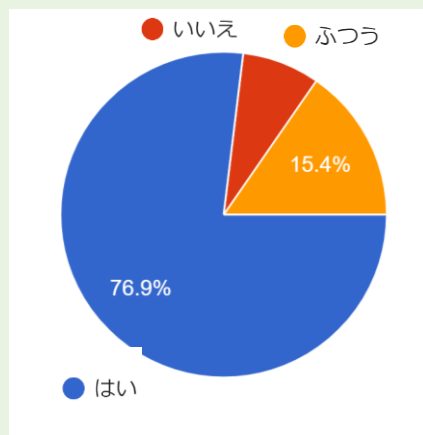
## 15, Life on land

レシートは感熱紙で出来ており、これは上質紙という紙で出来ている。上質紙は木材パルプが主原料となっており、レシート削減は15番に繋がる。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

# Social influence～社会的影響力～

SNSやポスターでの情報発信後、それらを見た人を対象にアンケートを作成  
Q、レシートに興味を持てたか？



<みんなの声>

- ・レシートが体に害のあるものとは知らなかった
- ・リサイクルできないことを初めて知った
- ・細かい買い物は避けてまとめ買いを意識しようと思った
- ・減らせるように努力したい

このように7割以上の方がレシートに興味を持ち、削減に向けて前向きな意向を示してくれた。よってこのプロジェクトを通して、「レシートに対する一人ひとりの意識を変える」ことはまだまだ100%ではないが達成できた。

## About us ～私達について～

「忍者」は今起きている様々な社会問題に興味があり、何か自分たちが出来ることはないかという思いを持ったメンバーで構成されている。そのため、チームワークはどこにも負けない自信がある。主にリーダーを筆頭に①企業と連絡を取る役割、SNSで発信をする係、実験をする係など各人が役割を分担し、責任感を持って取り組んだ。今回このSAGE JAPANを通し、仲間の大切さを学んだ。今後もこのチームワークを活かし、問題解決に向けて精進していきたい。



SAGE JAPAN 忍者